

## 学習課題（中学校2年生）



### 【国語】

#### <内容>

○教科書の「言葉を比べよう もっと『伝わる』表現を目ざして」（P69）を読んで、気付いたことや考えたことを家の人に伝えよう。

#### <取り組み方>

① 前回選んだ似た意味をもつ言葉を使って、それぞれ百字程度の物語を書こう。言葉の共通点と相違点を意識しながら書いてみよう。

・例)「うれしい」

久しぶりに海を見て、私が幼い頃に住んでいた町を思い出した。家から海まで1分。私の部屋の窓からは海しか見えないほど、近くにあった。大人になった私は、海に行くことが少なくなっていたので、久しぶりに海を見て、とてもうれしい気持ちになった。

※前回の課題に取り組んでいなかった人は、似た意味をもつ言葉を一組選ぼう。教科書 P69 の上、もしくは P292 「感情を表す言葉」 から選ぶとよいでしょう。

② ①で作った物語を、家の人に伝えよう。

※①～②に取り組む中で気付いたことや考えたことについて、取組シートに記録しておこう。

※②について、家の人に伝えることが、どうしても難しい場合は、目の前に家の人がいると想像して、自分の考えを声に出して説明するということでもかまいません。

## 学習課題（中学校2年生）

### 【社会】

#### <内容>

世界の人口の分布とその変化には、どのような特色が見られるのだろうか。調べたり考えたことを取組シートやノートにまとめてみよう。

#### <取り組み方>

- (1) 教科書 P150 の資料「世界の人口の変化」を見て、人口爆発とよばれる状態はグラフでどのように表されるか確かめましょう。
- (2) 世界で人口密度（1km<sup>2</sup>あたりの人口）が多い地域や少ない地域は、どのような地域なのだろうか。教科書 P150 の地図資料を見て考えてみましょう。
- (3) 地図帳 P145 「世界の人口増加率」を見て、人口増加率の高い国や地域はどのような特色があるか、考えてみよう。また、それらの国や地域では、なぜ人口増加が進んでいるのか、教科書 P151 の本文から読み取ってみましょう。
- (4) 教科書 P151 の国別の人口構成（人口ピラミッド）を表した資料について、先進国（日本、ドイツ）と発展途上国（エチオピア、アルゼンチン）を比較し、それぞれの国の人口構成の特徴を考えてみましょう。

#### <学習のヒント>

- (2) 地図帳 P9～12 を参考に、世界の地形や気候に注目して考えてみよう。また、どの州に人口は多いと言えるか、地図帳 P145 を見て考えてみましょう。
- (4) ①0～14 歳、②15～64 歳、③65 歳以上のそれぞれの年代の割合に注目して考えてみよう。また、日本の人口構成の変化について表した資料をもとに、日本で「高齢化」や「少子化」が進んでいる様子を読み取ってみましょう。

## 学習課題（中学校2年生）

### 【数学】

#### <内容>

連立方程式の解と2元1次方程式のグラフの関係について考えよう。  
～連立方程式をグラフで表したとき、どんなことがわかるかな～

#### <取り組み方>

- ① 教科書 P89 のQのグラフ①は、2元1次方程式  $x + 2y = 10$  を表しています。同じグラフ用紙に2元1次方程式  $3x - y = 2$  のグラフをかいてみよう。また、2つのグラフの交点の座標  $(x, y)$  を求めてみよう。
- ② グラフの交点の座標  $(x, y)$  が何を表しているのかを考え、「取組シート」やノートに書いてみよう。
- ③ 教科書 P89 の問2に取り組もう。
- ④ 教科書 P90 のクローズアップに取り組む、気がついたことを「取組シート」やノートに書いてみよう。

#### <学習のヒント>

- ① 2元1次方程式のグラフは解の集合になっていたね。2元1次方程式のグラフの書き方を忘れたときには、教科書 P85 の例1を参考にしてみよう。
- ② 連立方程式 
$$\begin{cases} x + 2y = 10 & \text{①} \\ 3x - y = 2 & \text{②} \end{cases}$$
 の解を計算で求めてみよう。どんなことが言えそうかな。  
連立方程式の解き方を忘れたときには、教科書 P45 の例2を参考にしてみよう。
- ③ 連立方程式を計算でも解き、グラフから求めた解と一致しているか確認してみよう。一致しない場合には、もう一度やり直してみよう。
- ④ (1) この連立方程式は計算で解けるかな。  
(2) 2つの2元1次方程式のグラフをそれぞれかいてみよう。2つのグラフの交点が連立方程式の解になっていたね。  
(3) 「グラフが交わらない」、「グラフが重なる」ことは、どんなことを表しているのかを考えてみよう。

## 学習課題（中学校2年生）

### 【理科】

#### <内容>

◆刺激を伝えたり、反応したりするしくみについて考えてみよう。

#### <取り組み方>

- ①「感覚器官」で受け取った刺激が「脳」に信号として送られ、触覚などの感覚が生じる。また、「脳」はその刺激に対してどう反応するかという命令を出し、手や足などの「運動器官」に信号が伝えられ、刺激に対する反応が起こる。教科書 P34～P37 の図 42、図 43、図 46 を参考に、「感覚器官」→「脳」→「運動器官」までの経路を、図を用いてまとめてみましょう。
- ②教科書 P35 の実験 2 の **A** をやってみましょう（家族に協力してもらいましょう）。  
※ 自分の反応時間をグラフから読み取り、記録しましょう。
- ③陸上競技のフライング判定は合図が鳴ってから 0.100 秒未満でスタートした場合と定められています。なぜ、合図が鳴った後でも、0.100 秒未満でスタートするとフライングになるのでしょうか。刺激と反応のしくみから考えてみましょう。

#### <学習のヒント>

- ②教科書の方法をよくみて、何度か試してみると良いでしょう。

～下記ページを参考にするのもよいでしょう。～

『NHK for School 「ACTIVE10 刺激と反応」』

[https://www.nhk.or.jp/rika/active10/?das\\_id=D0005110474\\_00000](https://www.nhk.or.jp/rika/active10/?das_id=D0005110474_00000)

『NHK for School 「動物の反応と行動」』

[https://www.nhk.or.jp/rika/10min\\_rika2/?das\\_id=D0005110129\\_00000](https://www.nhk.or.jp/rika/10min_rika2/?das_id=D0005110129_00000)

## 学習課題（中学校2年生）

### 【英語】

#### <内容>

◆学校のことや自分のことについて、例を参考に「取組シート」または「家にある英語のノート」に英語で書いてみましょう。Program3(1)(2)で学習する表現を参考にしましょう。

#### <取り組み方>

- (1) 学校生活のルールの中で、しなければならないことを書き出してみましょう。いくつ書けましたか？

例) We must walk on the right.

- (2) あなたの今日のスケジュールで、する必要のあることや、しなくても良いことを書き出してみましょう。いくつ書けましたか？

例) I have to get up at six.

I don't have to go to juku today.

#### <学習のヒント>

■学習補助教材動画を配信しています。必要に応じてご活用ください。

小学校、中学校で共通して学習する内容を紹介しています。

[http://www.city.sapporo.jp/kyoiku/shido/english\\_hojyo.html](http://www.city.sapporo.jp/kyoiku/shido/english_hojyo.html)

#### <配信内容>

「名前の書き方」「アルファベットの大文字・小文字」「月」「序数（日付）」

「食べ物」「スポーツ」「国」「色」「教科」「状態」「職業」「日常生活」「気分」など



※「取組シート（外国語）」は、札幌市教育委員会ホームページからダウンロードすることができます。